

全国小中学生

# “紙リサイクル”コンテスト

## 2014

《主催》：公益財団法人古紙再生促進センター

《後援》：文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会

全国市町村教育委員会連合会、全国小中学校環境教育研究会

読売新聞社、段ボールリサイクル協議会

全国製紙原料商工組合連合会

《協力》：教育新聞社

## 入賞者一覧

### 【金賞】

応募総数：892点（応募校数：43校）

部門		都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル
作文	小学生部門	東京都	荒川区立第三日暮里小学校	4	梅田 萌花	紙リサイクルのはたらき
	中学生部門	宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校 附属中学校	2	宮本 留那	紙と人の未来
ポスター	小学生低学年部門	愛知県	岡崎市立広幡小学校	3	市川 菜琴	紙リサイクル 生まれかわって またあおう！
	小学生高学年部門	福岡県	福津市立神興東小学校	6	佐藤 夕衣奈	リレーでつなごうリサイクル
	中学生部門	愛知県	岡崎市立葵中学校	1	市川 菜月	なんかいも であいつなげる エコみらい

### 【銀賞】

部門		都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル
作文	小学生部門	埼玉県	川越市立高階北小学校	6	平島 遥	古新聞や古雑誌がこんな製品に
	中学生部門	千葉県	八千代松陰中学校	2	板橋 歩美	雑がみ分別大作戦
ポスター	小学生低学年部門	福島県	福島市立福島第三小学校	3	遠藤 萌花	ちゃんと分別ステキに変新
	小学生高学年部門	愛知県	岡崎市立広幡小学校	5	市川 悟也	地球エコニコ 紙リサイクル
	中学生部門	宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校 附属中学校	2	佃 思佳	分別しよう紙源 選ぼうグリーンマーク商品

### 【佳作】

部門		都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル
作文	小学生部門	東京都	荒川区立第三日暮里小学校	4	清水 千和	私が思う紙リサイクル
		愛知県	豊橋市立富士見小学校	4	木山 魁	紙リサイクルに協力しよう
	中学生部門	宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校 附属中学校	1	徳村 実央子	リサイクルの輪を広げるために
				1	上岡 莉里愛	日本から世界へ
ポスター	小学生低学年部門	福島県	いわき市立勿来第一小学校	3	菅野 みんと	ひまわり
		福岡県	福岡市立板付小学校	3	長井 実咲	みんなで仲よくリサイクル
	小学生高学年部門	埼玉県	川越市立高階北小学校	5	鈴木 愛由	地球にやさしいリサイクル
		福島県	いわき市立勿来第一小学校	4	中野 泰宏	牛乳パックはリサイクル
	中学生部門	宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校 附属中学校	1	海老原 慧	緑を守るリサイクル
				1	齋藤 駿太	回収してから再利用

### 【特別賞】

部門	都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル
全国製紙原料商工組合 連合会 理事長賞	千葉県	八千代松陰中学校	2	藤田 優奈	紙パックの一声
段ボールリサイクル 協議会 会長賞	埼玉県	川越市立高階北小学校	5	三俣 実久	捨てればゴミまぜてもゴミ リサイクルで生まれ変わる！

# 金賞 作文小学生部門

荒川区立第三日暮里小学校4年

梅田 萌花

## 「紙リサイクルのはたらき」

私は、紙リサイクルは古紙からできることだけをしっていました。でもどうやってリサイクルされるのか、どうして紙リサイクルが地球にやく立つのかなど、いろいろがもんがありました。私はじっさいにおばあちゃんの家で、牛にゆうパックを使ってはがきを作りました。また、一学期に「ゴミの勉強をし、ゴミをつめる所が、あと五十年ほどしかもたないことを知っておどろきました。」

私は、じっさいに文ぼう具屋で紙の商品を調べてみました。そしたら、紙の商品のほとんどが古紙さいせい紙のマーク、つまりエコマークがついていて、わたしは、おどろきました。

次に私は、古紙から新しい紙に作るしくみについて調べました。さいしよは、古紙を集めてミキサーのようなものでまぜてかためるだけかと思っていました。でもほんとうは古紙からパルプをつくるには、離解(りかい)、除塵(じょじん)、脱墨(だつぼく)、晒(さらし)の工程があります。約十種類の機械で古紙から新しい紙へ生まれ変わります。

紙リサイクルは分けて古紙かいしゆうに出さないと、機械がおかしくなってしまう。私は、この学習をするまでは、リサイクル紙よりも新品の紙がいいと思っていました。でも今回の学習を通してリサイクル紙が好きになりました。一、分別、回収、二、流通、三、再生というリズムで、古紙はまわっていることもわかりました。

古紙の回収率と利用率は、回収率が年ねんたかくなっています。これは、みんな一人一人がかんきょう問題をよく考えるようになり、自然にやさしい古紙さらに大事にされ、多くつかわれています。それには、分ける、すてない、あつめる、つかうが大切です。古紙をきちんと分けて回収することで、また、あたらしい命が吹きこまれていきます。

紙リサイクルは、地球にも役立つています。たとえば、エネルギーを使う量が少なくなり、古紙を使うと、木から紙を使う場合に比べ、作業が少なくなるため、使われる全エネルギー量は少なくなります。二つ目は、ゴミをへらします。千九百六十年代はもえるゴミの中に半分近く入っていました。でも近代は半分よりすくなくなっています。三つ目は、しげんとして大事に使います。古紙は紙をつくる工場パルプというものにし、それを材料にしてさまざまな紙に生まれ変わります。

この学習を通して学んだこと、それは、「古紙のはたらき」です。古紙は地球温暖化に役だっています。さらに古紙は森をすくうこともできます。わたくしが、これからしたいことは、古紙で未来をすくうことです。今、私たちができることでも、未来をすくえます。たとえば、「分ける。」「すてない。」「あつめる。」「つかう。」などです。みんな一人一人がかんきょう問題をよく考えるようになると、さらに、未来の地球が明るくなります。私も、今ある紙を大切にしたいと思います。

# 金賞 作文中学生部門

宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 2年

宮本 留那

## 「紙と人の未来」

私の家には、読み終えた新聞を専用のボックスに入れ、リサイクルに出す。という一つの流れが、私が生まれた時からありました。また新聞だけでなく、チラシや雑誌、お菓子の入っていた箱やダンボール等、専用ボックスはいくつかあります。私は小さい頃、褒められるのが嬉しく、専用ボックスに古紙を入れる手伝いを頑張っていたことを覚えています。今でもその名残があり、専用ボックスに入れることが癖になっています。

中学に入る前の春休み。私は中学校の準備の為、小学校で買ったプリントやテスト、教科書、ノートを整理していました。気分がふわふわと浮いていた私は、いらないと判断したプリント類をそのままゴミ箱に入れていました。机から離れている専用ボックスに入れるのが、少し面倒くさかったのです。すると、同じ部屋を使っている妹が一言、「ゴミ箱を覗きながら呟いたのです。」

「資源には限りがあるんだよ。」

言葉を失ってしまいました。私に伝えているようで、自分に言い聞かせているようでもありました。いつもならすぐに言い返して、口喧嘩になるのですが、その時は素直に反省しました。妹の方が大人のような気がして、冷静を装いながらも、内心焦りまじりました。まさか妹に教えられることがあるとは、思いもよらなかったのですが、今考えると、自分にとっては本当に良い刺激になったと思います。それから

は、ゴミを捨てるときは、一度考えてから捨てるようになりました。

私はそれから、資源についてインターネットを用いて、調べてみました。妹は授業で触れたらしいのですが、私は自分でその現状を調べ、知りたかったのです。その際に知ったことの中で、特に心に残った情報があります。「社会や経済の発展、生活向上に伴い、紙の用途は多様化して、それぞれの分野で使われています。その消費量も各分野での経済活動の増加とともに増えていますので、原料確保の観点からも古紙の重要性は日本ばかりではなく、世界的にますます大きくなっています。」

これから紙を作るたびに資源を使い続けていくと、資源が底をつき、将来は紙がなくなっているのかもしれないのです。そうならない為にも、紙のリサイクルは欠かせないものとなってきているのです。

最近、私の周りでは紙のリサイクルを、家だけではなく、学校でも行っており、多くの人が関心を持ちつつあることが分かります。その様な人の環が、紙の未来を左右するのです。私達のするべき事は、紙リサイクルに興味を持ち、実際に行動に移すことが大切なのではないでしょうか。これは我々の未来にも深く関係のあることです。共に考えていくべきだと思っています。

## 金賞 ポスター小学生低学年部門

岡崎市立広幡小学校 3年

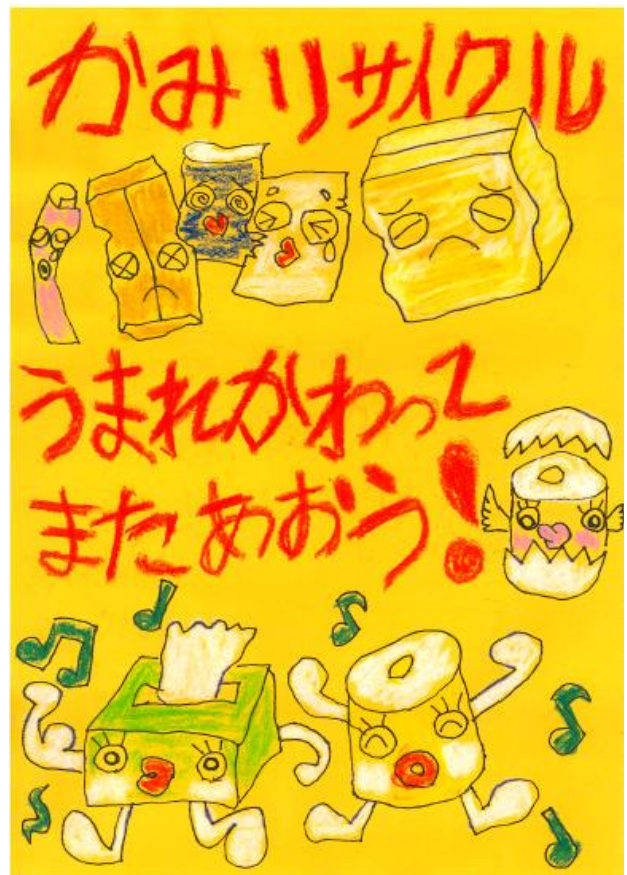
市川 菜琴

「紙リサイクル」

生まれかわって

またあおう！」

もりはきれいな空気や水をつくってくれたり、しぜんさいがいの多い日本で、こうずいやどしゃくずれ、なだれなどをおこりにくくしてくれています。かなしいさいがいをふせぐためにも木(もり)を大切に、リサイクルしていきたいです。



## 金賞 ポスター小学生高学年部門

福津市立神興東小学校 6年

佐藤 夕衣奈

私は紙がリサイクルされていくことをリレーに例えました。牛乳パックはトイレットペーパーにリサイクルするので、バトンをトイレットペーパーにわたそうとしています。このように紙リサイクルのリレーを続けるには、私たち人間がリサイクルについて改めて考え、より多くの人が行うことが大切です。だれか1人でもいいからこのポスターを見て地球のために紙リサイクルに協力してくれたらとてもうれしいです。

「リレーでつなごうリサイクル」



## 金賞 ポスター-中学生部門

岡崎市立葵中学校 1年

市川 菜月

「なんかいも

であいつなげる

エコみらい」

生き物は森林なしでは生きられません。しかし私たちのぜいたくな生活のために、ゴミ問題だけでなく、砂漠化や温暖化の原因のひとつになっています。取り返しのつかない状態になる前に、自分たちで出来る事から始めたいと思いました。

ポスターは、小さな子供たちにもわかりやすい様にひらがなにしました。日々の暮らしの中でリサイクルが自然に出来るエコ未来につなげていきたいです。



## 段ボールリサイクル協議会 会長賞

川越市立高階北小学校 5年

三俣 実久

「捨てればゴミまぜてもゴミ

リサイクルで生まれ変わる！」

同じ紙でも、きちんと種類ごとに分けないとリサイクルできない。大切な資源をムダにしない。



八千代松陰中学校 2年

藤田 優奈

## 「紙パックの一声」

五〇〇二万トン。みなさんはこれが何の数字を示しているかわかりますか？実はこれ日本で一年間に出るゴミの量なんです。私も初めてこの数字を見たとき、とても驚きました。では国民一人あたりの、一日のゴミの量はどれくらいなのでしょう？なんと一一一五グラム。約一キロものゴミを私たちは平気で捨てているのです。この中には、リサイクルができるもの、まだ使うことができるものがたくさんあるはずです。その中に「つぶされていない紙パック」もあると思います。

みなさんも一度はコンビニなどで見たことがある「紙パックのジュース」。私はたまたま買いますが、最初のころはつぶさずに捨てていました。ですが、ある日興味本位でつぶしてみると、一つの文章が浮き出てきました。「リサイクル、ありがとう。」と書いてありました。私はこの文章を見たとき、「リサイクルした(つぶした)人にしか見ることができないんだ。これは紙パックからの声なんだ。」と感動しました。それから私はいつもパックをつぶしてリサイクルをするように心がけています。

みなさんは、リサイクルをしていますか？いくら小さなことでも、コツコツ続ければ、その成果はとて大きなものになると私は考えます。特に、この題材にもあるように、紙に関してのリサイクルなどは、たくさんあると思います。きっとリサイクルと

いう重みがありそうな言葉を聞くと「めんどくさい。」「大変なんじゃないか。」などと思う人もいるかもしれませんが。私も前はそう思っていました。しかし、現にやってみると、すごく簡単で、紙パックの時には、あの一声を聞くことができたので今ではリサイクルに挑戦することができてとてもよかったですと感じています。

みなさんも、たとえ小さなことでも、一度にたくさんリサイクルをすることができなくても一つ発見をすることで自分のリサイクルに対する心が変化するかもしれません。その一つ一つの積み重ねが国民一人一人あたりの一日のゴミの量や一年あたりの日本のゴミの量を減らすことができると私は思います。みなさんもぜひ、一つ自分でリサイクルができるようなことを見つけて、実感してみてください。